

令和6年度 第2回富士川町子ども・子育て会議 会議録

会議名称 第2回富士川町子ども・子育て会議

会議日時 令和6年8月27日（火）午後7時から

開催場所 富士川町役場1階会議室

出席者 委員 17名
事務局 9名

傍聴人数 0名

会議内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) アンケート調査結果報告・就学前
 - (2) アンケート調査結果報告・小学生
 - (3) 町の概況
- 4 その他
- 5 閉会

協議事項における発言の内容

- (1) アンケート調査結果報告・就学前、(2) アンケート調査結果報告・小学生 について、
 - ・事務局（説明）
資料：子ども子育て支援事業計画に関するニーズ調査 調査結果報告書 概要版
以上の資料に基づいて、事務局より説明

質疑、意見

- ・委員（質問）
病児・病後児保育施設の利用について、どこの施設を利用できるかなど利用についての詳細を知りたい。
- ・事務局
病児保育とは、乳幼児や小学生の子どもが病気の回復期に至らないため、集団生活や家庭での保育が困難な場合に、専用の保育室で一時的にお預かりする事業である。町内には対象の施設がなく、利用条件については施設ごとによって異なる。

病後児保育とは、乳幼児や小学校の子どもが病気の回復期にあり、集団生活や家庭での保育が困難な場合に、専用の保育室で一時的にお預かりする事業である。町内には富士川病院に対象の施設がある。利用には事前登録が必要で、利用する場合は前日に電話での予約となる。また、医療機関から利用してよい旨の証明書が必要。町内在住者は2000円、町外在住者は2500円の利用料（1人1日当たり）がかかる。

・委員（質問）

アンケート結果を見て、就学にかかる費用軽減の必要性を感じたが、今後の町としての取り組みや考えがあれば教えていただきたい。

・事務局

子育て支援課としては、子育て世帯への子ども医療費助成や保育料無償化等を行っている。今年度からは、在宅育児応援給付金や産後ママ応援事業を開始している。就学支援については、教育委員会の管轄となる。更なる子育て支援施策ができるよう、庁内検討委員会と協議し進めていく。

・委員（質問）

前回に比べてアンケートの回答者数が大幅に減っている。前回のアンケートは330通の回答が得られたが、今回は約1/3の回答となっているが、方法を変更したのか。

・事務局

前は、保育所・学校を通して紙ベースで配布し、回収を行った。今回はWebを使って実施し、学校と保育所を通してアンケートの回答をするようお知らせをしてもらったが、回収数が少なかった。そのため、回答期間延長のお知らせをし、回答を促したが、Webでのため回答数が少なくなっている。

・委員（意見）

子どもの現状を把握するためには、できるだけ多くの人から回答を得るものと思う。回収率30%のアンケートをもとに、今後5年の計画の方針を考えるには足りないのではないか。前回と同じようなアンケート結果となっているが、その辺を考えながら計画の検討をしてもらいたい。

（3）町の概況

- ・事務局（説明） 資料：町の概況

質疑、意見

・委員（質問）

転出が多いが、その理由は分かるのか。

・事務局

何かが影響しての人口減ではないと把握しているが、町民生活課で転出の際に人口動態の調査を行っているので、把握できるようであれば確認して情報提供させていただきたい。

・委員（意見）

若者の大学等への進学や就職によるものが大きいと考える。

・委員（意見）

富士川町は自然豊かな環境で子育てができる等のアピールをすることで、地元に戻って子育てをしたい、富士川町で子育てをしてみたいと、人口が増えるきっかけになると思う。子育て支援への充実にも力を入れてもらいたい。

・委員（質問）

人口減少が続いている状況だが、今後の対策について考えはあるのか。

・事務局

様々な子育て支援の施策を進めている。政策秘書課では、移住を促す町の宣伝や移住支援に取り組んでいる。これからも、富士川町に住み続けてもらえる施策、移住してもらえる施策を検討していきたい。

・委員（質問）

令和3年度の7～8か月児健診について、該当児75人だが受診児は76人と、該当児童よりも多い、その理由を教えてください。

・事務局

該当児はその年度の対象で、前年度の未受診の子どもの数を受診児としてカウントしているためである。

以上